

NTT西日本宮崎支店とNTTテレコン九州支店	
水道スマートメーターでDX化	
宮崎県木城町と協定締結	
宮崎県木城町（半渡英俊町長）、NTT西日本宮崎支店（宮崎県宮崎市、横奥宏明支店長）、NTTテレコン九州支店（福岡県福岡市、中島伸樹支店長）は2月3日、「水道スマートメーター実証実験の実施に関	する協定」を締結した。地方自治体における公共施設や道路、水道といったインフラ整備に関わる事業費などは増加傾向にあるとともに、その事業に携わる人材は慢性的に不足しており、DX化の推進による業務効率化が急務となっている。
NTTテレコン製の通信	そのため、今回の協定締結では、木城町のインフラDX化の一環で、水道メーターを介した実証実験を行うことにした。
端末と電子式水道メーターを接続することにより、NTTテレコンの集中監視センターを介し木城町役場で水道メーターの遠隔検針を実施する。これにより、検針コスト削減や人員不足の解消を狙う。	
また、漏水警報の機能を活用し蛇口の閉め忘れ等のトラブルの早期発見の可能性も期待できることから、実証実験を通じ、業務の稼働削減や住民サービス向上に向けて定量的な効果を測定する。	
加えて、水不使用警報や水使用状況の情報をを用いることで独居老人の見守りサービスへの応用が期待できることから、見守りサービスへの適用についても効果測定を行う。	
実証は2月から7月まで続けられ、状況に応じて継続する予定。	
このほか、実証の報告会場の場を活用し、NTT西日本が提供する上下水道関連業務のDXに資する各種商材やサービスについての活用も検討する。	